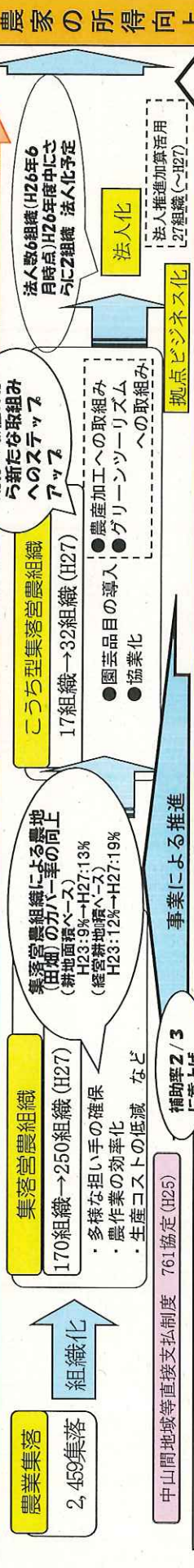


H26.7

集落営農の推進 (集落営農・拠点ビジネス支援事業 + 集落営農普及促進事業)

ステップアップ



農家の所得向上、地域農業の維持・活性化

市町村の主体的取り組みへ

市町村等

● [H24~] 法人化、拠点ビジネス化に向けた支援

ハード事業、
①「法人推進加算」拠点ビジネス推進加算により法人・拠点ビジネスの取組を加速化
【補助率】県 1/10以内 市町村 1/15以上
【採択要件】
①「法人化計画」を作成し、3年以内法人化を目指す集落営農組織または法人設立3年以内の集落営農組織に支援
②「拠点ビジネス推進計画」を作成し、加工・交流に取り組み集落営農組織に支援

● 集落営農の取り組みを早期に波及

① うち型集落営農の成果・ノウハウを早期に周辺地域に波及
② 市町村(担い手育成総合支援協議会)・JA等と連携した体制整備
③ 集落のリーダー育成や、集落営農組織のステップアップへの支援

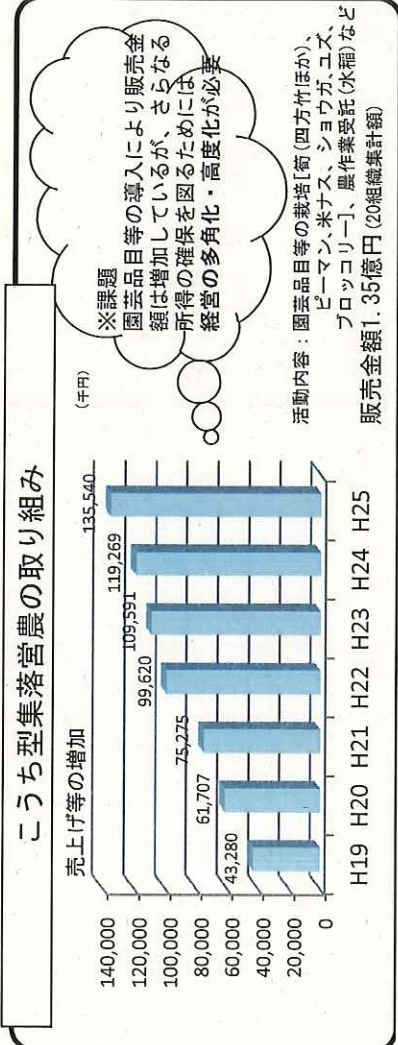
集落営農普及促進事業 (農業振興センター等による支援)

● うち型、拠点ビジネス化、法人化への支援 (園芸品目等の導入、経営の多角化、拠点ビジネス化)
【ソフト】
・拠点ビジネスに向けたアドバイザー派遣
・集落営農の拡大のためのアドバイザー派遣
【ハード】
・農業用機械、施設整備
・農産加工用機械、施設や農村交流施設の整備
・法人及び拠点ビジネス推進のための加算枠

● 既存組織への支援
【ソフト】
・ステッピングアップのための先進地視察や研修会
【ハード】
・農業用機械、施設整備

● うち型、拠点ビジネス化、法人化への支援 (園芸品目等の導入、拠点ビジネス化、経営の多角化)
・拠点ビジネス化や集落営農組織レベルアップのための講座開催
・うち型、法人化にステップアップするための先進地視察や研修会開催
・農産加工やグリーンツーリズムへの取組の推進やアドバイザー

経営多角化の取組を波及!



現状と課題

○ 担い手の減少
農業就業人口 47,019人 (H12) → 40,134人 (H17) → 34,128人 (H22)
販売農家数 24,881戸 (H12) → 21,069戸 (H17) → 18,479戸 (H22)

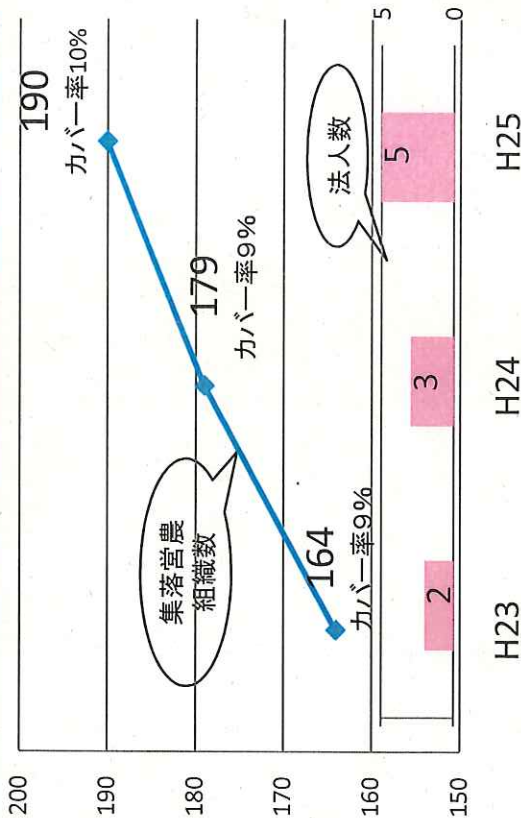
○ 高齢化の進行
農業従事者の高齢化率 43% (H12) → 54% (H17) → 56% (H22)

○ 耕作放棄地の増加
耕作放棄地面積 3,626ha (H12) → 3,810ha (H17) → 3,920ha (H22)

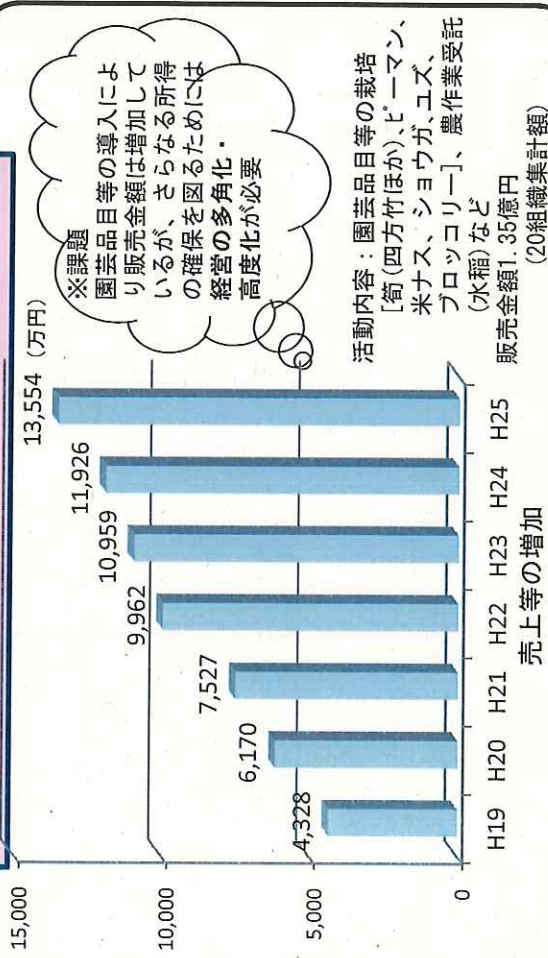
○ 7市町村で集落営農組織がない ⇒ 県域での取り組みができていない

「集落営農の推進」の成果

集落営農組織化・法人化の取組 ～ 「集落営農組織」による農地(田・畑)のカバー率 「組織数」「法人数」の推移 ～

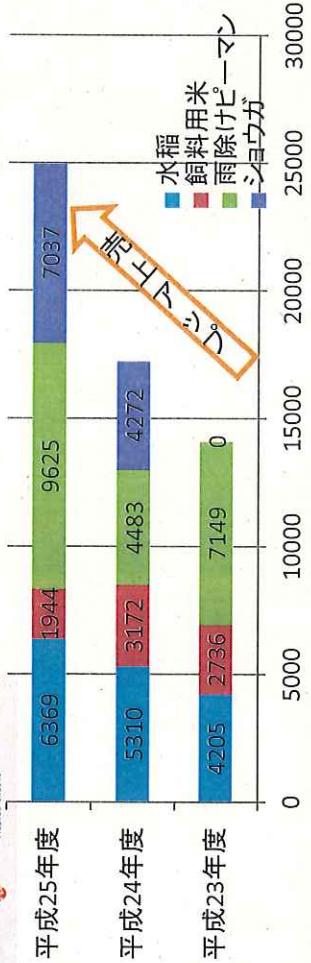


こうち型集落営農の取組 ～ 取組組織数及び売上高の推移 ～



カバー率＝県耕地面積に占める、全集落営農組織構成員の農地の割合

取組事例：農事組合法人ビレッジ影野の取組 ～ 「売上高」「取組品目」の推移、取組成果 ～

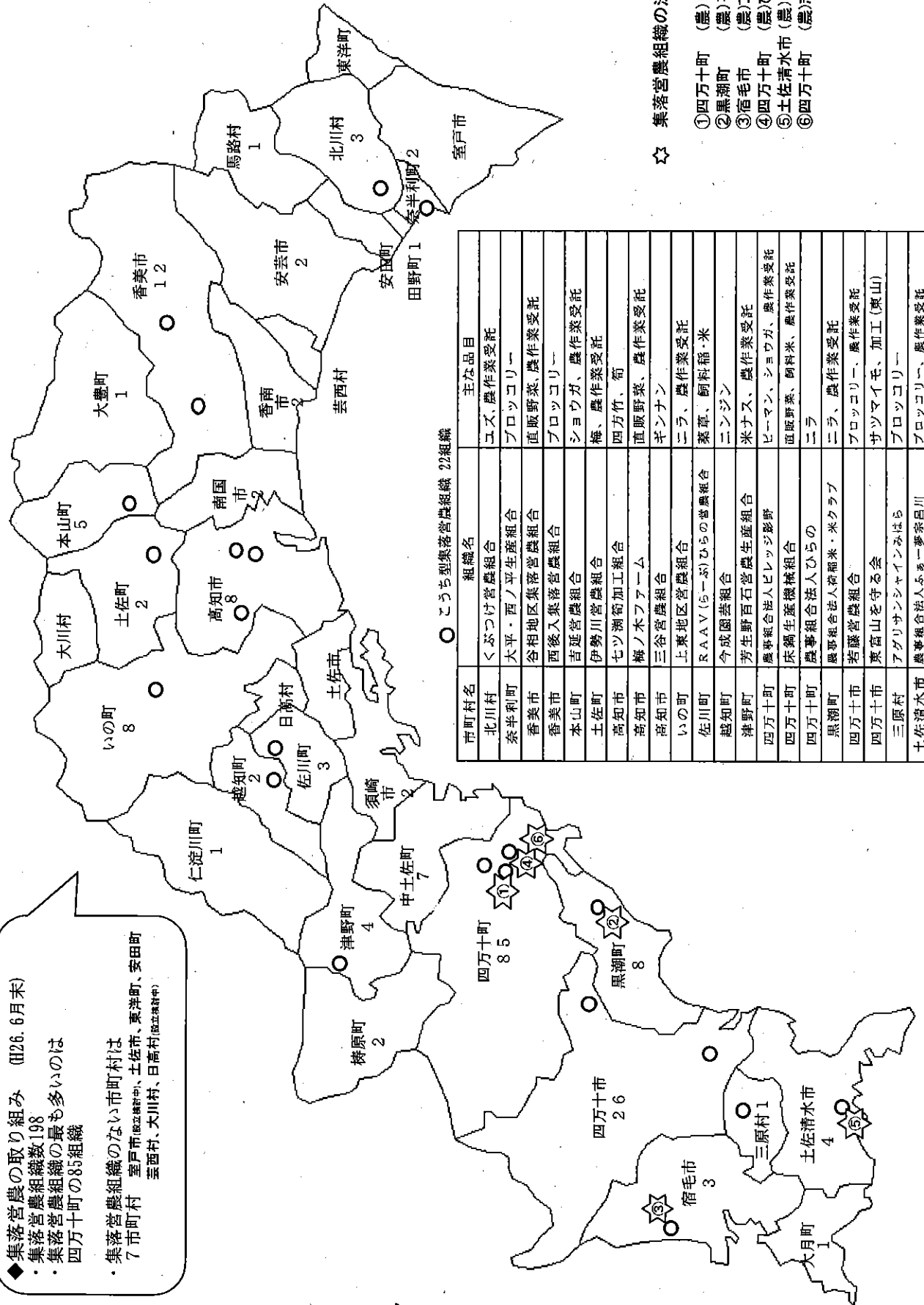


- ① 農業経営の多角化/効率化による所得向上
(集落一農場方式による農地の利用調整や集積+園芸品目等の導入+農業機械/施設の大規模化/設備投資)
- ② 次世代の担い手の確保(若手の雇用(3人))
- ③ 多様な人材の参画と追加所得の向上
(園芸品目の出荷調整作業に高齢者が活躍)
- ④ 耕作放棄地の発生抑制
- ⑤ 地域内外の交流の場づくりによる活力ある地域づくり
(観光農園の運営、地域行事への参画や企画運営)

高知県における集落営農組織の状況

- ◆集落営農の取り組み (昭26.6月末)
- ・集落営農組織数198
- ・集落営農組織の最も多いのは四万十町の85組織

- ・集落営農組織のない市町村は7市町村
室戸市(設立済)、土佐市、東洋町、安田町、芸西村、大川村、日高村(設立済)



○ ころち型集落営農組織 22組織

市町村名	組織名	主な品目
北川村	くぶつけ営農組合	ユズ、農作業受託
奈半利町	大平・西ノ平生産組合	プロットコリー
香美市	谷相地区集落営農組合	直販野菜、農作業受託
香美市	西後入集落営農組合	プロットコリー
本山町	吉延営農組合	ショウガ、農作業受託
土佐町	伊勢川営農組合	梅、農作業受託
高知市	七ツ瀬加工組合	四方竹、筍
高知市	梅ノ木ファーム	直販野菜、農作業受託
高知市	三谷営農組合	ギンナン
いの町	上東地区営農組合	ニラ、農作業受託
佐川町	RAAV(らーぶ)ひらの営農組合	葉草、飼料稲・米
越知町	今成園芸組合	ニンジン
津野町	芳生野百石営農生産組合	米ナス、農作業受託
四万十町	農事組合法人ビレッジ影野	ピーマン、ショウガ、農作業受託
四万十町	床瀬生産機械組合	直販野菜、飼料米、農作業受託
四万十町	農事組合法人荷福米・米クラブ	ニラ、農作業受託
黒潮町	農事組合法人荷福米・米クラブ	プロットコリー、農作業受託
四万十市	若藤営農組合	サツマイモ、加工(東山)
四万十市	東富山を守る会	プロットコリー
三原村	アグリサンシャインみはら	プロットコリー
土佐清水市	農事組合法人ふるー夢宗呂川	プロットコリー、農作業受託
宿毛市	篠南集落営農組合	ニンニク、ユズ、農作業受託

☆ 集落営農組織の法人組織

- ①四万十町 (農)ビレッジ影野
- ②黒潮町 (農)荷福米・米クラブ
- ③宿毛市 (農)ファームなかつの
- ④四万十町 (農)ひらの
- ⑤土佐清水市 (農)ふあー夢宗呂川
- ⑥四万十町 (農)志和

集落営農組織による6次産業化等への取り組み

【農業振興部地域農業推進課】

No.	市町村・地区名	取り組みの概要 (主要商品等)	取組主体	取組の現状	取組の方向と課題	支援の状況
1	高知市七ツ淵	七ツ淵筍加工組合	集落営農組織	・集落営農により四方竹など筍の生産振興及び協同加工・販売を行っている。H24年度には集落営農・拠点ビジネス支援事業(農産加工機械・施設整備事業)により、加工行程の冷却装置等を整備し、品質向上及び稼働効率化による出荷量の拡大の拡大を図った。	【取組の方向】 ・加工機械施設等生産基盤を整備し、作業効率化と品質向上、生産出荷量を拡大する。 (拠点ビジネス推進計画策定) 【課題】 ・生産販売方法の改善 (労力確保による出荷量増ほか)	・県単事業による四方竹等生産加工体制(ソフト)施設整備による生産工程の効率化 (H25年度集落営農・拠点ビジネス支援事業) ・拠点ビジネス推進計画の作成(11月) ・新ビジョン作成に向けた課題整理(H26.3新ビジョン作成)
2	土佐町田井	伊勢川営農組合	集落営農組織	・集落営農により農業機械施設共同化を図り農作業受託などによる生産コスト削減及び効率化、農地保全活用等を行っている。 耕作放棄地を復元し共同栽培している梅(20a)を活用した農産加工・視察研究を行っている。平成23年度から梅漬けを加工し量販店、直販所に出荷している。	【取組の方向】 ・商品のブラッシュアップ及びアドバイザー派遣などにより試作研究をすすめ新たな加工品を開発する。 【課題】 ・運営体制(高齢者が中心となった組織のため人員体制確保) ・生産販売方法の改善 ・既存商品ブラッシュアップ	・商品ブラッシュアップ(パッケージ改良) ・商品試作(3品)・消費者調査(試食評価) ・研修(小さなビジネスづくり研修会・ワークショップ参加) ・梅園管理(栽培・防除・除草等)技術支援
3	四万十町影野	農事組合法人ビレッジ影野 →(組織変更) 株式会社サンビレッジ四万十	集落営農組織	・集落営農により集落一農場型の農業生産を行っている農業生産法人(集落営農による農業生産法人の第1号)。農地利用集積により年間雇用できる作業体系を設け新規就農の場となるなど担い手確保・育成にも寄与している。農業創造セミナー(第1回)受講グループ。米ブランド化、生産物を活用した農産加工のほか、体験農園による交流活動にも取り組んでいる。経営多角化に向け、組織変更(農事組合法人→株式会社)された。	【取組の方向】 ・農業生産法人としての出荷販売計画の達成を図りつつ、商品販路拡大を視野に入れた生産物の加工直販や交流活動への展開を図る。 【課題】 ・中長期計画による組織ビジョン構築	・農林水産物直販所支援事業(アドバイザー派遣):味噌・ジャム加工ほか ・加工用カブ契約栽培への取組 ・研修(小さなビジネスづくり研修会参加2名) ・県広報番組で活動(おはよう高知)
4	四万十市片魚	東富山を守る会	集落営農組織	・集落営農により農業機械共同化を図り農作業受託などによる生産コスト削減及び効率化、農地保全活用、交流活動等を行っている。農業創造セミナー(第2回)受講グループ。セミナー受講を契機に「東山」の生産加工販売に向けた原材料生産に取組始めた。	【取組の方向】 ・実証ほによる品種選定や加工技術保持者の技術の選定や共有化を図る。 【課題】 原材料の品種の選定や加工技術高位平準化	・農業創造セミナー受講(H23) ・平成25年度、伝統作物活用実証事業による展示ほ設置(3品種 10a) ・栽培管理技術(現地検討会・鳥獣対策防護柵設置) ・ひがしやま加工検討会での計画作成(作業工程) ・生いも500Kg及び加工済品74Kgを四万十ドラマに販売 ・平成26年度共同栽培(15a定植 5品種)開始。